

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	S.T	学部・学科	国際商学科
学年	4年	派遣国	スウェーデン
派遣大学	オレブロ大学		
期間	2022年 08月 17日～ 2023年 06月 04日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (55,000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (0) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	2万円	
学用品購入費	0円	
交通費	5000円	バス(一時間 28Kr)
交際費	3万円	アルコール品、カフェ、旅行用電車賃
その他	万円	
合計	5,5万円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

基本的に治安は良い
 深夜2時に歩いていても大丈夫なレベル
 ただし駅を超えてオレブロ大学と反対側は治安が悪いという話を聞いたことはあった

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(約 13 万) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (**オレブロ**)

人口約 30 万人

スウェーデン第 7 位の都市

鉄道のターミナル駅としても栄え、日本でも事業を展開するアトラスコプロが拠点を構えている。

IKEA がバスで行ける範囲にあり、街中にも最低限のお店はそろっているため、生活に困ることはあまりないが、同時に娯楽施設も少ない。ただし緑は凄く多い。

【学業編】

1. 大学情報

大学	Örebro university	所在地	Örebro
最寄空港	Arlanda 空港	空港からの距離	
空港⇄大学	(Arlanda→bus(3h)→bus(市内)) *移動手段		
学生数	16,000 人	留学生数	不明(体感 100 人弱)
学部	School of business Science and Technology Hospitality, Culinary Arts and Meal science Humanities, Education and Social Science Behavioral, Social and Legal Science Music, Theatre and Art Health Science Medical Science *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	School of business *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① 秋学期(8月)~(1月) 明確な時間割が無く週ごとに不定期なため一例を記載

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		International Logistics 9:15~13:00	International Logistics 10:00~14:00	International Logistics 9:15~13:00	
午後					

② 春学期(1月)~(6月) 明確な時間割が無く週ごとに不定期なため一例を記載

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	International management 10:15~13:00			International Management 10:15~13:00	
午後			Culture and leadership Management 13:15~16:00		

3. 履修内容

科目	Imagining Futures		
履修期間	8/30~11/5	単位数	7.5
授業内容／形態	<p>ディスカッション(授業時間:2時間 45分×9)</p> <p>授業前に提示された小説やドラマを視聴し、授業時間内でその中身についてディスカッション。小説内容についてはSFが多かった。</p>		
成績	D		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Marketing of sports and Events		
履修期間	9/7~11/3	単位数	7.5
授業内容／形態	<p>座学・グループワーク</p> <p>講義:1時間 45分×5 プレゼン発表:約8時間×4</p> <p>座学は最初の2週で終了し、残り1か月は各自グループワーク、発表</p> <p>スポーツイベントでどのようにして集金をはかるのか、リーグの構成などを学んだ。各国のグループメイトと一つのスポーツ、またリーグを選び調査し発表した。</p>		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	International logistics		
履修期間	11/8~12/9	単位数	7.5
授業内容／形態	<p>講義:1時間 45分×7 プレゼン発表:約8時間×2</p> <p>Major Paper と呼ばれるグループで執筆した論文を提出し、更にお互いのグループ間で評価しあう Opposition Paper を提出したのちそのプレゼンを行う。世界の流通について学んだ。陸路から空路、海路、すべてを学んだが、スウェーデンは陸路が主流であること、また国際的な授業であったため、海路、特にコンテナの授業が多かった。</p>		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		

	単位数	
	担当教員	

科目	Supply chain management		
履修期間	12/12~1/5	単位数	7.5
授業内容／形態	<p>個人課題の提出:一週目 10 題 (各問題最低 3/4 頁、最高 1 頁) 二週目 15 題(各問題最低 1/2 頁、最高 1 頁) 三週目 11 題(各問題最低 1 頁、最高 2 頁)</p> <p>グループ課題の提出:SCM に関する Major paper(最低 20 頁最高 25 頁) 流通や倉庫の種類、生産者から小売りまでの流れを学んだ。グループワークではサプライチェーンと同時に世界で起こっている問題を絡めて調査し major paper を執筆した。</p>		
成績	C		
YCU 振替予定	科目	流通ロジスティックス論	
	単位数	2	
	担当教員	柳田 義継	

科目	Global communication		
履修期間	1/17~2/20	単位数	7.5
授業内容／形態	<p>:計 7 回の講義 (時間はかなりバラバラ) 計 2 回の seminar (500 字以内のグループワーク、プレゼン) Take home exam. メディアなどによるプロパガンダや文化面の形成を考えるという授業。 各国のグループメンバーと各国で聞かれている音楽や使われている SNS の違いなどを会話しながらグループでの発表を行った。</p>		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Culture and Leader Management		
履修期間	2/20~4/25	単位数	7.5

授業内容／形態	講義:2時間 45分×5 発表:2 writing exam 事業を国外で拡げる際にどのような問題が起こってくるのか、各国のビジネス体系の違いを学ぶ。アジアやヨーロッパはもちろん、隣国であるドイツーフランス間の文化の違いも学んだ。またビジネス間の文化の違いだけでなく、基本的な文化の違い、またそこから起こる理想的なリーダーの違いなども学んだ。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	International Management		
履修期間	2/21~4/24	単位数	7.5
授業内容／形態	講義:2時間 45分×6 プレゼン発表:約8時間×2 writing exam Seminar ではグループワークで major paper と opposition paper の提出。世界中の企業でどうマネジメントを行うのか。現実の記事と絡めて、現実問題を対処しようとしている企業についてペーパーを書くといった内容		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Strategic brand management		
履修期間	5/2~6/4	単位数	7.5
授業内容／形態	講義:1時間 45分×6 プレゼン発表:1 digital exam ブランドマネジメントを成功させるための戦略について学ぶ。ブランドを作り上げるための戦略やその成り立ちを学ぶ。加えて、現在存在しているブランドがどのようにブランドマネジメントを行っているかを分析し、今後の考えられる問題などを提起		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	S.T	学部・学科	国際商学部 国際商学科
学年	4年(3年次出発)	派遣国	スウェーデン
派遣大学	Örebro 大学		
期間	2022年 8月17日～ 2023年 6月 4日		
プログラム	交換留学		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Imagining Futures
講義内容	授業前に提示された小説やドラマを視聴し、授業時間内でその中身についてディスカッション。小説・ドラマの内容についてはSFが多く、小説によっては300pを超えていた。
科目	Marketing of sports and Events
講義内容	スポーツイベントの集金の仕方の仕組みなどを約2週間座学で学び、その後グループワークをし、実際に存在しているチームやスポーツリーグをまとめプレゼン。
科目	International logistics
講義内容	どのように世界の流通が行われているのか、海路、空路、陸路すべて学ぶ。またスウェーデンでは陸路が多いという話や、国での違いを生徒内でディスカッション。最後はグループペーパーを書き発表。
科目	Supply chain management
講義内容	サプライチェーンのフローを学ぶ。どのようにして生産者から小売業者まで商品が届くのか、またその際商品をストックする倉庫の種類や内容まで学ぶ。リモート授業のため課題提出方式。
科目	Global communication
講義内容	どのようにして各国間、各民族間の認識の差が文化の違いによって生まれるか、といった授業。メディアがどのようにして人々の文化形成に影響を与えているのかを学ぶ。
科目	Culture and Leader Management
講義内容	事業を国外に展開する際、また海外支店で部下をまとめる場合、どのような問題が起こるのか、各国のビジネス形態、文化、リーダー像の違いを学ぶ。

科目	International Management
講義内容	現実の記事を調べ、その記事の問題を解決、あるいは対処しようとしている企業について調べ、学術論文と絡め、論文を書き、また他の版のペーパーに対する反論記事を書くというもの。
科目	Strategic brand management
講義内容	どのようにしてブランドが形成されていくのかを学ぶ。講義を 6 回行った後、自分たちで特定のあまり知られていないブランドを選び、どのようにしてそのブランドが形成されたのか、どのようにして形成しようとしているのかをペーパーを書き、発表。

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

私はこの留学を通して、自主と積極性の大切さを一番に学んだ。

スウェーデンでの授業は、日本の授業ほど明確に時間が決まっているわけでも、週何時間以上必ず授業を行わなければいけないという規則もない。そのため多くの授業が 3 時間程度の授業を 2 週間もしくは 3 週間行ったあとは、2 週間、長ければ一か月生徒のグループワークの課題を提示することで終了する。つまり生徒たちが自分たちで連絡を取り合い、時間を決め、テーマを決め進めていかなければいい評価は絶対に取れない。また先生が生徒たちに進捗を確認することもない。別の授業では、最初の 10 分だけ先生が事前課題の内容を確認し、あとの 2 時間はすべてディスカッションというものもあった。だらけようと思えば徹底的にだらけることのできる状況下で自分を磨くために自主性と積極性を持つことが非常に大事であることを、身をもって学んだ。

また、積極性に関しては、友人を作るという点で深く感じた。英語能力という点で、私はスウェーデンに到着した際に他の生徒と比べて大きく遅れていた。同時に到着時点からかなり精神的にもしんどくなっていたことから、家に引きこもることが多かった。しかしそのことにより、孤立しがちになってしまった。その時に私は最初もっと積極的になっていたらと後悔したため、後期は積極性を持ち、友人の友人にまで知り合いの輪を広げようと努力したことで、より多くの友人を得ることができた。

また自分のこの留学の目的の一つでもあった、価値観を広げるという点も大きく達成できたと感じている。共同生活でも、こちらが気にする部分(掃除の面や衛生面)でも気にしないヨーロッパの生徒が多い一方で、こちらがあまり普段気にしない部分(環境問題や宗教問題)を気にする日本人以外の生徒が多数おり、自分が無意識に失礼を働いた際に静かに教えてくれる、など、新たな考えを多く得ることができた。特に印象に残っているのは、スウェーデンの選挙に近いこともあり、各々の国の政治についてカナダ・スウェーデン・韓国・日本・ドイツ・フランスの人々とディナーがてら話し合ったことだ。両国の関係が良くない関係性の人もいながら全員確固たる意見をもって意見交換をしている点において、英語学習の面でも、自分の意識の面でも大きな影響を受けた。

全体を通して、とても学びが多く、有意義な留学であったと感じている。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今後、私はこの経験を活かして日本に、延いては世界に貢献していきたいと考えている。特に、就く仕事として海運を考えている。授業を通して、各国でのビジネス文化の違い、その中でのリーダーシップの発揮の仕方、そして全世界のロジスティックスに関する知識を、日本の中からだけでなく、スウェーデンの視点、また各国出身の生徒の意見を交えながら学んだ。加えて、それらの授業や生活を通して、積極性と自主性を身に付けた。これらの知識と姿勢は、海運という海外の企業を相手にビジネスをしていく職業において活かすことができると考える。加えて、これらの意識や知識、スキルを日本に訪れた海外の人にも使っていきたいと考えている。具体的には、現在日本語を教えるボランティアを行っている。それだけでなく、これからは町の案内所や困っている人を積極的に助けていけるようになりたい。スウェーデンにいた際、しんどいこともつらいことも困ることも多かったが、そのたびにたくさんの人が助けてくれた。その時の恩を、日本に訪れた方が日本に来てよかったと思ってもらえるように還元していきたいと考えている。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

必ず明確な目標を一つ持った状態で留学に臨むこと。
ただ漠然とした状態で海外に来て、それは時間とお金の無駄だったなと今感じています。またそれを達成するために努力を惜しまないこと。しんどいことの方が実際多く、自分自身諦めてしまった部分がとても多いです。それをとても後悔しています。最初の 1 か月だけでも、無理をおしてでも少し頑張ってみてください。
そして、積極性を失わないこと。受け身で友達ができるというのは幻想です。積極的になるのとならないのでは、得られる結果が全く違うと思います。少し積極的になるだけで新しい友達ができるチャンスを得ることができます。最後までぜひ積極的でいてください。
ただ矛盾しているかもしれませんが、無理は禁物です。周りに日本語が通じる人が少なく、いざとなったときに頼れる人も少ないというのは、とても心細いです。自分自身、熱を何回も出したし、今振り返れば、精神を少し病んでいたなという時期もあります。正直今も治っていないなとたまに感じます。どうか自分自身の引き際を見極めて、後悔の無い選択をしてください。良くも悪くもあなたのその年齢の時に、留学先に行けるのは今の一回きりです。どうか精一杯楽しんでください。